

3月定例会

●会期 2月18日～3月20日(31日間)

医療費助成中学卒業まで 拡大を求める請願は採択

今回は	
市長提出議案	31件
議員提出議案	1件
請願	4件



3月定例会最終日(3月20日)

【議案第1号】 和解に関し議決を求める
ことについて

東京電力原発事故 損害賠償の和解

東京電力の原発事故による23・24年度の損害賠償請求のうち、52万円を和解しようとするものです。

【議案第2号】 綿帽子温泉館に係る指定
管理者の指定について

綿帽子温泉館は 3年間の指定管理

綿帽子温泉館を八幡平市産業振興(株)に管理させようとするものです(期間〓4月1日～平成30年3月31日)。



4月から安代老人憩の家の機能も持つ綿帽子温泉館

【議案第3号】 八幡平市ラグビー場等に係る指定管理者の指定について

新たに4体育施設 体協へ指定管理

八幡平市ラグビー場、鬼清水球技場、中山ラグビー場、中山野球場を八幡平市体育協会に管理させようとするものです(期間〓4月1日～平成29年3月31日)。

【議案第8号】 八幡平市土地開発基金条例の一部を改正する条例

土地購入の資金 2億円に減額改定

土地開発基金の額を5億円から2億円にしようとするものです。

2億円という根拠は。1億円でもよいのではないか。

今後の「大更駅周辺の賑わい創出施策」も含めて、2億円は残しておくべきと考える。

【議案第9号】 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

今後は教育長と 教育委員4人体制

教育委員の定数を4人とするともに、これまでの教育委員長と教育長を一本化し、市長から任命される新たな教育長(任期3年)が設置されることに伴う整備をしようとするものです。

【議案第11号】 八幡平市一般職の職員の給与に関する条例及び八幡平市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例

職員給料引き下げ 平均5910円

国と県の例に準じ、一般職の給与月額を平均1・79%引き下げなどの改定をしようとするものです。(3年間は現在の給与が保障)

【議案第12号】 平成26年度八幡平市一般会計補正予算(第9号)

1億3831万円 減額の補正予算

歳入、歳出それぞれ1億3831万円を減額するもので、主な歳出は次のとおりです。

- 生活習慣病予防検診業務委託料 1269万2千円(減額)
- 西根病院事業会計負担金 1億400万円
- 丑山牧野森林化業務委託料 25万6千円(減額)
- 除雪業務委託料 2750万円

生活習慣病予防検診業務委託料が減額となった要因は、当初予定の75%しか受診しなかったためである。

丑山牧野森林化業務委託料は、当初1080万円の予算で752万6千円も減額となるのは、計画自体が甘かったのではないか。

現地を確認したところ、草地の傾斜が急勾配で、機械が入れないため、最終的に取りやめたものである。

現地を確認したところ、草地の傾斜が急勾配で、機械が入れないため、最終的に取りやめたものである。

【請願第9号】 浅沢地域道路改良に関する請願書 ※平成26年継続分

浅沢地域道路改良 請願は一部採択

市道浅沢線と県道二戸五日市線をつなぐ農道と、浅沢コミュニティセンター脇の農道の舗装改良を求める内容です(請願者〓浅沢地域振興協議会長・佐藤三郎)

産業建設常任委員会が審査

委員会の審査結果 一部採択すべきもの(浅沢コミュニティセンター脇の農道は改良すべきであるが、市道浅沢線と県道二戸五日市線をつなぐ農道は道路上に防火水槽があり、改良して使用するには支障がある)

▼本会議議決結果 一部採択



昨年12月16日の現地調査でも道路上に防火水槽があることを確認

【請願第2号】 八幡平市の乳幼児、児童医療費助成事業を中学校卒業まで拡大することを求める請願書

医療費助成拡大を 求めて請願採択

現在、小学校卒業までとなっている八幡平市の医療費無料化の対象を中学校卒業まで拡大することを求める内容です(請願者〓西根中学校PTA会長・佐藤進ほか市内3中学校PTA会長)

教育民生常任委員会が審査

委員会の審査結果 採択すべきもの(保護者の経済的負担の軽減を図り、子育て支援の充実のためにも医療費助成事業の拡大は必要である)

▼本会議の議決結果 採択



医療費助成を中学卒業まで拡大し人口減少対策を(松尾中卒業式)



(八起会) 高橋 守 議員

高橋議員 八幡平市として田山PA（パーキングエリア）へのスマートIC（インターチェンジ）設置の計画はあるのか。

市長 細野地域への設置検討と並行して、これまで県と合同で現地調査や意見交換を行ってきた。細野地域への設置は平成24年に断念したが、田山PAへの設置は、今後の設置検討へ向けての準備を行っており、27年度から内部検討を進めていきたい。

高橋議員 田山PAへのスマートIC設置に向けての問題点は何か。

市長 24時間通行可能で、大型特殊車両を含む全ての

車が通れるアクセス道路の整備が必要となるため、田山PAと国道282号を接続する道路の整備検討が大きな課題であると考えている。

ハチマンタイラーはすでに市民が公認？

高橋議員 岩鷲護神ハチマンタイラーを八幡平市公認ヒーローに認定して、商工会青年部の活動を応援してはどうか。

市長 ハチマンタイラーは、すでに市民の皆さんから公認されていると感じている。高橋議員 市で公認できないのであれば、活動費用の補助をして、市の行事などに多く利用できないか。

市長 今後、コスチュームのリニューアルなど特別な経費が生じる場合には、相談に応じていくつもりである。ハチマンタイラーは市の活性化を使命とし、各種イベントに駆けつけ、その場を盛り上げることが活動目的であり、市でも継続的に支援し、市の観光、物産振興に生かしたい。

ドライブレコーダー 公用車に設置しては

高橋議員 市の公用車にドライブレコーダーの設置を義務付けてはどうか。

市長 先行自治体の導入状況などを調査しながら検討していきたい。



スマートICの設置で利便性の向上が期待される田山PA

●他の質問事項 新庁舎へのアクセス道路、スキルアップ教育、バス代高騰について

田山PAにスマートIC 設置検討に向けて準備中

国の緊急経済対策 活用し増額補正

【議案第31号】 平成26年度八幡平市一般会計補正予算（第10号）

歳入、歳出それぞれ2億9275万4千円増額するもので、主な歳出は次のとおりです。

▼定住促進雇用対策事業 2079万5千円

▼畜産振興事業（畜産競争力強化対策緊急整備事業費補助金） 8293万6千円

▼商店街活性化推進事業（共通商品券特典事業費補助金） 7610万4千円

▼電気自動車急速充電器設置工事 3188万2千円

Q 電気自動車急速充電器の設置場所は。

A 道の駅にしねと松尾八幡平ビクターセンターに設置予定である。

Q 上乗せ率20%のプレミアム付き商品券の販売時期は。

A 4月23日発売開始で、3万2500セット発行する予定である。

平成27年第1回定例会 賛否の分かれた議案の採決結果

議案名	議員名																					議決結果
	1 工藤隆一	2 田村善男	3 畠山康	4 井上辰男	5 立花安文	6 大森力男	7 渡辺義光	8 工藤剛	9 遠藤公雄	10 古川津好	11 小野寺昭一	12 田村孝	13 山本榮	14 高橋守	15 高橋悦郎	16 関善次郎	17 大和田順一	18 高橋光幸	19 米田定男	20 北口和男	21 伊藤一彦	
議案第11号 八幡平市一般職の職員の給与に関する条例及び八幡平市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第12号 平成26年度八幡平市一般会計予算補正予算（第9号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第13号 平成26年度八幡平市国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第16号 平成26年度八幡平市国民健康保険西根病院事業会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第21号 平成27年度八幡平市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第22号 平成27年度八幡平市国民健康保険特別会計（事業勘定）予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	原案可決
請願第5号 農業委員会・企業の農地所有・農協改革など、「農業改革」に関する請願	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	○	●	●	○	○	○	○	不採択

※賛成＝○、反対＝● 工藤直道議長は採決に加わりません



(新政クラブ)
おおわ だじゅんいち
大和田順一 議員

第2次総合計画の策定

人口減少対策に力注ぐ

大和田議員 地方版総合戦略策定と、新総合計画策定との整合性と進め方は。

市長 総合戦略で人口減少克服、地方創生を目指す施策と事業を先に定め、その後策定する市政運営の基本となる総合計画に反映させることで整合性は図られるものと考えている。

市長 県が「ふるさと名物商品券・旅行券」を発行するという情報があり、市独自の取り組みは予定していない。県の事業で市の産業に大きな効果が上がることを期待している。

幼児の医療費助成も現物給付化しようと考えている。

●他の質問事項 職員の表彰制度について

市長 次期総合計画で予定される施設整備を実施計画に盛り込むが、人口減による予算規模の縮小は避けられなく、必要性や費用対効果など十分検討したい。

市外客対象としたプレミアム商品券

大和田議員 交流人口増による市の産業振興のため、市外からのお客さまが市内施設で利用できる「市外客おせつたい商品券」を検討してはどうか。

大和田議員 県では、子どもや妊産婦の医療費助成を窓口負担のない現物給付方式を実施するが、市単独の助成分も導入の検討をすべきではないか。

市長 平成28年8月から県が現物給付化する方針に伴い、県基準での対象外で、市単独事業の対象となる乳

市長 平成28年8月から県が現物給付化する方針に伴い、県基準での対象外で、市単独事業の対象となる乳



新たな出発の思いの総合計画に
(2月3日・総合計画審議会)



(緑松会)
いとう かずひこ
伊藤一彦 議員

伊藤議員 4人の部長職を定年延長する根拠となる法の解釈が合致するとは思えない。「公務の運営に著しい支障が生じるとき」とは具体的に何か。

市長 市総合計画など10件の計画や条例の制定があるほか、国体の準備など、これまでの経験を生かして市政に参画してもらいたい。

伊藤議員 2月16日の議員全員協議会の説明で、市長が全く知らないことであると話した後、副市長は決裁済みと説明した。どうして発言が食い違ったのか。

市長 私が本人から確認を取っていなかったもので、知らないことと発言した。

関連質問

伊藤議員 市長は、議員全員協議会の開催に否定的な働き掛けを一部の議員にしたが、その趣旨は何か。

市長 私のこれまでの経験から、勉強会的なものは議員全員協議会にはなじまないと考えたものである。

●他の質問事項 観光振興、漆工技術研究センターについて

伊藤議員 残る課長たちの能力が劣るから、4人の部長職を定年延長するのか。

副市長 管理職に就いていることから、決してそのようには考えていない。

古川議員 一つの市が一度に4人の定年延長を行うのは全国でも異例である。他の自治体の調査をしたか。

定年延長は法に合致せず

計画など策定のため必要



マスコミにも大きく報じられた定年延長問題

副市長 調べてはしていない。

●他の質問事項 観光振興、漆工技術研究センターについて

(関連質問)



ふるかわ つよし
古川津好 議員



(日本共産党)
まい た さだ お
米田定男 議員

定年延長強行は法に反す

27年度は特別な1年間に

延長を行わないのか。全く矛盾であり、平等取り扱いの原則に反することとなる。

●他の質問事項 産廃最終処分場問題、住宅リフォーム助成制度の継続について

米田議員 職員の定年延長の制度は、地方公務員法第28条の3「定年による退職の特例」で「退職により公務の運営に著しい支障が認められる十分な理由があるとき」を絶対的な条件にしている。特例の適用の判断は任命権者一人に委ねられているのではなく、高い客観性が求められているのは当然である。市当局が、今回の定年延長の特例の適用が法律に則しており妥当だと判断しているとすれば、具体的には現部長職4人が退職すれば、その後を担える職員が現状では存在しないと判断しているということではないか。

市長 27年度は、市総合計画基本構想や前期基本計画、実施計画など10件の計画や条例制定を予定しているほか、国体に向けたさまざまな準備もあり、現部長のこれまでの知識を生かし、参画してもらう予定である。
米田議員 27年度は、国体を含めて大きな仕事があるので、定年延長の措置をしたいという希望を述べているに過ぎず、定年延長の法的根拠にはなれない。部長の後継者である課長級職員などは部長職を担える能力がなく、現部長と比較すれば著しく職務の能力が劣っていると判断しているのか。

副市長 課長などに能力がないと判断しているのではない。あくまで、27年度が特別な年になることを考慮して総合的に判断したものである。
米田議員 課長などに部長職を担える能力があると認めていることでこの議論は決着がついている。法律は、後継者が職務を担った場合に著しく公務に支障が出るのと判断される場合を唯一絶対の条件にしている。
市長 職員削減の中、危機的状況であり、部長にも頑張っていたら、27年度は乗りきっていくものである。
米田議員 では、なぜほかの3人の定年退職者は定年



26年度は定年退職者7人を含む14人が退職
(3月31日・退職者辞令交付式)

を与えるために畜産を管理できるヘルパーが重要ではないか。

●農政課長 現在8人いるが、必要に応じて人数を増やすことで対応したい。

企画総務部長 西根総合支所は防衛庁の補助で作ったもので、事務所としての利用だけで協議している。
平成28年完全国体リンドウでPR
関議員 国体では、本大会、冬季大会ともリンドウを使い、市をPRすべきである。
市長 冬季大会は開始式会場をチリ産のリンドウで、本大会の総合開会式会場にも市のリンドウを使うことで県と調整している。

関議員 リンドウ生産に携わる若い人たちが冬期間にでもチリやニュージーランドに視察研修させ、グローバル化に対応できる人材を育成してはどうか。
市長 1人50万円ほどかかるが、国に継続的な支援を要望していきたい。

関議員 畜産振興の発展には、飼育している人に休日

畜産を管理できるヘルパーが必要
関議員 畜産振興の発展には、飼育している人に休日

市長 27年度は各地域で国体開催の機運醸成と啓発に

関議員 畜産振興の発展には、飼育している人に休日



新庁舎から花輪線利用促進を発信
(3月14日・JR花輪線北森駅自由通路落成式)

関議員 新庁舎から発信する市長の抱負は。
市長 新庁舎は、市民の一体感の醸成を図り、市の発展のための拠点と位置付けている。多目的ホールを新たなまちづくりのシンボルとし、市民と行政のコミュニケーションの場となることを期待している。
関議員 西根と安代庁舎の空き室利用計画は。
市長 西根は経済団体に活用を打診している。安代は社会福祉協議会安代支所の移転を協議している。

関議員 空室の利活用には、市民の案で利用できるのか。それとも制限されているのか。

関議員 畜産振興の発展には、飼育している人に休日

新庁舎からの新たな発信

市民と行政がより密接に



(自由クラブ)
せき ぜん じ ろう
関善次郎 議員